

CASE
02理想の暮らしを
手にいれる

瀬戸内の穏やかな海に恵まれた三原市には、島々を望む海沿いや島での暮らしを求めて移住する人も増えています。日常で味わうリゾートのひとときは、移住後の暮らしにゆとりと彩りをもたらしてくれるかもしれません。

きらめく水面と祭りが迎える、西の玄関口

須波・幸崎エリア

竹原市に続く国道185号線「さざなみ海道」沿いに広がる須波・幸崎エリアは、美しい海の景色が広がり、サイクリストからも人気。瀬戸内の多島美を一望できる筆影山や、海水浴が楽しめる須波海浜公園もあり、三原のレジャースポットです。幸崎の春祭り「ふとんだんじり」では、若衆の勇壮な姿がまちを盛り上げます。



すなみ海浜公園

おすすめPOINT

須波稲荷神社

満潮時には海に浮かんでいるように見える鳥居は、ご来光スポットとしても有名です。

呉線の景色

JR三原～広島駅をつなぐ呉線の車窓から見える、穏やかな瀬戸内海と島々もまた違った良さがあります。

朝焼けの海から始まる、東の玄関口

糸崎・木原エリア

尾道市に続く国道2号線沿いに位置する糸崎・木原エリアは、しまなみ海道を望む景色が魅力。「道の駅 みはら神明の里」には、市内で栽培される農産物や地元の港で水揚げされた新鮮な魚介類が並びます。約1300年前に創建された「糸崎神社」には多くの参拝客が訪れ、地域の歴史を感じることができます。



神明の里からの眺望

おすすめPOINT

糸崎神社

天平元年(729年)創建。樹齢約500年といわれる市天然記念物のクスノキがあります。

鉢ヶ峰

鉢ヶ峰(標高429.7m)は、瀬戸内海の多島美を一望できる絶景の登山スポットです。



教えて! センパイ移住者さん!

瀬戸内海に浮かぶ、日本一新幹線の駅から近い島

佐木島・小佐木島

佐木島と小佐木島は、三原港から船で13分ほどの距離にある離島。年間を通じて温暖な気候に恵まれ、佐木島では春になると小高い山に約1000本の桜が咲き誇ります。柑橘栽培も盛んで、初夏にはみかんの花の香りが島を包みます。

一方、小佐木島は人口わずか4人の小さな島で、どこかノスタルジックな雰囲気が漂います。

鷗港に到着する高速艇



おすすめPOINT

島ならではの名産品



柑橘類



わけぎ



トマト



アスパラ

島の名所・見どころ

佐木島

塔の峰千本桜
佐木島灯台
長浜海岸

小佐木島

小佐木島灯台
Sauna Meri 小佐木島
ギャラリーBH2



ヒツジにも会えるよ!

佐々木さんご家族
東京都から移住

▶ 移住先に佐木島を選んだ理由は?

定年後は海沿いか島で暮らすのが夢でした。瀬戸内か九州を検討していた頃、移住フェアで偶然知ったのが佐木島。離島という点も気に入りましたし、移住ツアーで訪れた際には観光地化されていない静かな環境にも惹かれました。

▶ 佐木島の住み心地は?

空き家バンクで出会った築30年程の家は状態も良く、目の前には海が広がるロケーション。散歩中にご近所さんと挨拶を交わしたり、ミカンをいただいたりと、人との距離の近さも実感しています。

▶ 移住の際、大切なことは?

移住後の生活で優先したいことを明確にし、実際に足を運んで擦り合わせることでいいですね。私たちが優先したのは医療。その点、島には診療所や動物病院があり安心です。高速艇で13分で本土に渡れ、通院や買い物もそこまで困りません。全般的な不便さも含め、暮らしそのものを楽しんでいます。

岡田寛美さん
東京都から移住

▶ 三原市に移住した理由は?

10年以上前に旅行で訪れた広島で、瀬戸内海と島々の美しさに心奪われました。その記憶が忘れられず、移住を決意。海沿いの近隣市町も検討しましたが、転職先や交通の利便性を考え、三原を選択しました。海や島が見える物件に出会えたことも、大きな決め手です。

▶ 海沿いの家の住み心地は?

穏やかな海からのぼる朝日を一望でき、毎朝、パワーと癒しをもらっています! 古い家なので改修は必要ですが、DIYで少しずつ暮らしを整えながら、念願だった庭づくりや家庭菜園も楽しんでいます。

▶ 移住の際、大切なことは?

自分の直感に従うことです。「ここだ!」と感じたら、まずお試しで住んでみるのもおすすめです。暮らしのイメージが湧くだけでなく、人とのつながりも生まれ、思った以上に移住のハードルが下がるかもしれませんよ。